

第6学年 国語科学習指導案

児童：6年1組 男子16名 女子13名
指導者：伊藤由美子

1 単元名 二 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

教材名 「平和のとりでを築く」
「自分の考えを発信しよう」

2 単元について

(1) 教材について

本単元「筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう」は、事実と筆者の意見や主張との関係をおさえ自分の考えをまとめながら読む力を育てること、さらに、自分の考えを明確に伝えるために、必要な材料を集め、選択し、文章の組み立てを考えて書く力を育てることをねらいとしている。

「平和のとりでを築く」は、13段落で構成されており、大きくは「原爆ドームに対する筆者の思い」第1段落、「原爆ドームがたどった歴史」第2～8段落、「世界遺産への道のり」第9～11段落、「まとめ」第12～13段落、の4つのまとまりから成っている説明的文章である。日本人として知っておきたい史実と、それが「世界の遺産」となった意味についての筆者の主張を丁寧に読み取り、これからの社会の在り方は自分たち自身の問題であるという視点を与えることで、「平和」や「戦争」という重要な問題について子どもたちが自分なりの考えをもつことのできる価値ある教材といえるであろう。また、多くの人々が「平和」を希求していることを理解することで、第2教材を学習する際の動機付けにもなっている文章でもある。

「自分の考えを発信しよう」では、「平和のとりでを築く」を読んで自分なりに考えたことを、「平和」にかかわるいろいろな資料を集めて読むことで、さらに考えを深めて自分の考えを明確に伝えるために文章を工夫し、発信していく活動を通して、表現能力を高めることができると考える。

以上のことから、これらの教材は筆者の主張を読み取り、自分の考えをもち、さらに発信する力を育てるのにふさわしい教材といえる。

(2) 子どもの実態

6年生になって子どもたちは説明文教材「生き物はつながりの中に」では、事実と筆者の意見や主張を関係付けて読み、筆者の考えに沿って要約し、筆者の考えに対する自分の意見をまとめて文章に表す学習を行ってきた。

これらの学習を通して、「問題提起」→「問題の解明」→「まとめ・主張」という文章の構成に着目し、最終段落に筆者の主張が明確に示されていることを理解するようになってきている。しかし、文章全体を要約して筆者の考えをまとめ、それに対する自分の考えを書く場面では、大切な言葉や書き出し等の手がかりを示さなければ書くことができない子どもや、根拠となる考えや自分の経験や知識を入れながら自分の考えを書きまとめることが難しい子どもがみられた。それは、自分の考えに自信がもてなかったり、経験や知識が乏しかったりするためと考えられる。

本校の研究内容である「教材文とのかかわり」については、文章構成を大まかにつかんだ上で、重要語句や文末表現にサイドラインをひきながら事実と筆者の考えを区別して読み、各段落の要点や全体の要旨をまとめることができるようになってきている。重要語句や文末表現に着目して的確に文章をまとめられる子どももいれば、重要語句や書き出しの言葉のヒントをもとにまとめる段階の子どももいて、個人差がみられる。

また「友達とのかかわり」については、一人学びの後でペアや少人数でそれぞれの考えを確認する場を設けてきた。自分の考えを近くの友達に声に出して伝えたり、友達の考えに対する自分の感想を伝えたりする機会をどの子どもにも与えることで、お互いの考えを認め合い、さらに深めようとする意識がでてきた子どももみられる。また、全体の話合いの場では、友達の発言に際して、自分の考えと比べながら聞き、自分の立場をはっきりさせて発言するよう心がけてきた。

(3) 指導にあたって

①教材文とのかかわり

学習計画の段階では、日本が過去に経験した戦争や、今も戦争で苦しんでいる同世代の子どもたちがいる事実が分かる資料を提示して、「平和」が今日的な課題であり、これからの社会を担う自分たち自身の問題でもあるということをとらえさせ、初発の感想の中で題名に込められた筆者の思いや筆者の主張を予想させる。そして、単元名「筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう」に着目させ、教材文「平和のとりでを築く」での筆者の主張を読み取った上で、それに対する自分の考えを意見文として書きまとめ、交流するという全体を通しての課題をつかませることで、学習への意欲を高め、持続させていく。

課題追究の段階では、原爆ドームがたどった歴史と世界遺産になるまでの道のりや筆者の考えについて、それぞれ丁寧に読み取る活動をし、その後に考える視点を与えて自分が感じたことや考えたことを書きまとめていく。そうすることで、自分の意見の蓄積ができ、まとめの意見文を書く場合にいかすことができると考える。また、書きまとめる際に具体的な視点を与えることで文章からずれない内容で書きまとめることができ、視点をいくつか与えることでより価値の高い視点で書こうという意欲が喚起されると考える。

課題解決の段階では、題名に込められた筆者の思いや筆者の主張をまとめ、今まで書きためてきた自分の意見をもとに筆者の主張に対する意見文を書く活動を取り入れる。そして、初発の感想と比較することで、自己の読みの高まりを実感すると思われる。

また、並行読書として「戦争」や「平和」、「原爆」、「世界遺産」等、教材に関わる本を扱い、子どもたちの興味・関心や考えを高め、平和について考えることができるようにする。

②友達とのかかわり

学習計画の段階では、初発の感想を書かせた後に、視点別に分類した感想一覧表を配り、全体で交流し合う場面を設ける。お互いの感じ方や考え方を知る中で、共通点や相違点に気づき、さらに学習の後で初めの考えがどう変容するのかお互いの考えの深まり、高まりを認識させることにつなげていく。

中心発問や自分の考えをもつ場面などでペアや3～4人で交流し合う活動を取り入れる。書かれていることを自分のこととしてとらえることが難しく意見が浅い子どもや知識や経験が乏しく自分の意見をもつことが難しい子どもに、より多くの書く材料をもたせるためである。

3 単元の目標

観 点	目 標
国語への 関心・意欲・態度	筆者の主張を読み取り、自分なりの考えをもつたり、「平和」について関心をもって話し合ったり、意見文に書きまとめたりしようとする。
書く能力	自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の組み立てを考え、書くことができる。(ウ)
読む能力	事実と筆者の意見や主張との関係をおさえ、自分の考えをまとめながら読むことができる。(エ)
言語についての 知識・理解・技能	段落と文章全体との関係をとらえ、自分の考えを主張するための文章の構成を理解することができる。(オ (ア))

4 単元の学習指導計画と評価規準（16時間 読むこと8時間 書くこと8時間）

段階	時間	○学習目標 ・主な活動	評価規準（評価方法）		
			国語への関心・ 意欲・態度	書く能力と 読む能力	言語についての 知識・理解・技能
学習計画	1	○単元のねらいを知り，学習の見通しをもつことができる。 ・戦争や平和に関して知っていることなどを出し合い，教材文に興味をもつ。 ・漢字と語句の練習をする。	・戦争や平和に関する既習の学習を想起し，資料に興味・関心をもっている。 （発言・ノート）	〈読む〉 ・単元のねらいについて理解し，単元の見通しをとらえている。 （発言・ノート）	・漢字や語句の意味について理解している。 （ノート）
	2	○「平和のとりでを築く」初発の感想を書くことができる。 ・全文を読む。 ・初発の感想を書く。	・教材文に興味をもち，感想をもとうとしている。 （発言・ノート）	〈読む〉 ・筆者の主張は何か，興味をもった事など，具体的な感想を書いている。 （ノート）	・語句の意味を調べている。 （ノート）
	3	○題名とリード文，第1段落から読みの課題を共通認識し文章構成をとらえることができる。 ・①段落を読み，筆者が「わたし」として語っていることに着目し，原爆ドームに対する筆者の思いを読み取る。 ・リード文を参考にして読みの課題を設定する。 ・全文を②～⑧段落（原爆ドームがたどった歴史）⑨～⑪段落（世界遺産への道のり）⑫～⑬段落（まとめ）に分け，文章構成をとらえる。	・読みの課題を考えようとしている。（発言） ・全文を読み，文章構成をとらえようとしている。 （発言・ノート）	〈読む〉 ・「原爆ドームが世界遺産へ登録されるまでにどのような年月をたどってきたのか」を読み取りながら，筆者の主張を考えるとこの課題をとらえている。（発言・ノート） ・文章構成をとらえている。（発言・ノート）	・文章構成を理解している。 （発言・ノート）
課題追究	1	○原爆ドームがなぜ永久保存されることになったのかを読み取り，それに対する自分の考えをまとめることができる。 ・②～⑧段落を読み，物産陳列館が原爆ドームとして保存されていく過程を事例や時を表す言葉に着目し読み取る。 ・原爆ドームが永久保存されるに至った人々の思いに対する自分の考えを書く。	・原爆ドームがたどった歴史に興味をもち，自分の考えをもとうとしている。 （発言・ノート）	〈読む〉 ・原爆ドームがなぜ永久保存されることになったのかを読み取り，自分の考えをまとめている。 （発言・ノート）	・文章中の漢字や語句の意味を理解し，適切に使っている。 （発言・ノート）
	2 本時 2/3	○原爆ドームがなぜ世界遺産に登録されることになったのかを読み取り，それに対する自分の考えをまとめることができる。 ・⑨～⑪段落を読み，世界遺産の制度や登録への経緯を，事例や時を表す言葉に着目し読み取る。 ・筆者の心の動き（不安→確信）を読み取る。 ・原爆ドームが世界遺産に選ばれたことに対する自分の考えを書く。	・原爆ドームが世界遺産に登録されるまでの経緯に興味をもち，自分の考えをもとうとしている。 （発言・ノート）	〈読む〉 ・原爆ドームがなぜ世界遺産に登録されたのかを読み取り，自分の考えをまとめている。 （発言・ノート）	・文章中の漢字や語句の意味を理解し，適切に使っている。 （発言・ノート）

	3	○筆者の主張に対する自分の考えをもち、深めることができる。 ・⑫・⑬段落を読み、⑭に筆者の主張が表れていることを読み取る。 ・根拠を明らかにして、平和についての自分の考えをまとめる。	・筆者の主張をとらえ、自分の考えをもととしている。 (発言・ノート)	〈読む〉 ・筆者の主張を理解し、自分の考えをまとめている。 (発言・ノート)	・筆者の考えが分かる文の文末表現に気付いている。 (ノート)
課題解決	1	○題名に込められた筆者の思いを読み取ることができる。 ・前時までの学習で読み取ったことを学習シートにまとめる。 ・「平和のとりで」の意味を、学習前と比較し、読みの深まりを確認しながら、筆者の思いをまとめる。	・これまでの学習を振り返りながら、題名に込められた筆者の思いを考えようとしている。 (発言・学習シート)	〈読む〉 ・これまでの学習を振り返りながら、題名に込められた筆者の思いを読み取っている。 (発言・学習シート)	・重要語句や筆者の叙述の変化を理解している。 (発言・学習シート)
	2	○筆者の主張に対する意見文を書くことができる。 ・自分の感じ方や考え方を根拠を明らかにして意見文を書く。	・筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。 (ノート)	〈読む〉 ・平和についての自分の考えをまとめ、意見文を書いている。 (ノート)	・自分の考えを根拠を明らかにして文章を書いている。 (ノート)
書くことの学習	1	○「自分の考えを発信しよう」全文を読み、学習計画を立てることができる。 ・教材文を読み、学習内容や方法を知る。	・平和に関する自分のテーマを考え、学習の見通しをもととしている。 (発言・ノート)	〈書く〉 ・教材文を読み、自分の伝えたいテーマを決めている。 (ノート)	・漢字や語句の意味について理解している。 (発言・ノート)
	2	○インターネットを活用した学習について学ぶことができる。 ・「インターネットと学習」を読み、情報の集め方や発信の仕方、人との交流の仕方を学ぶ。	・インターネットを活用する際適切なことを進んで考え、理解しようとしている。 (発言・ノート)	〈書く〉 ・必要な情報を収集するときの方法や、表現するときの諸注意を理解している。 (発言・ノート)	・目的や意図に応じ、様々な表現方法があることを理解している。 (発言)
	3	○伝えたい相手と伝える方法、調べ方を考えることができる。 ・伝える方法や調べ方を知る。	・自分の伝えたいことを、誰に、どのような方法で伝えたいかを考えようとしている。 (発言・態度)	〈書く〉 ・何を、誰に、どのように伝えるかを自分の意図に沿って適切に考えている。 (発言・ノート)	・目的や意図に応じ、様々な表現方法があることを理解している。 (発言)
	4	○自分の伝えたいテーマについて調べることができる。 ・必要な資料を集める。	・必要な資料をいろいろな方法で集めようとしている。 (資料・態度)	〈書く〉 ・図書資料やインターネットなどを利用して、必要な資料を集めている。 (資料・態度)	・必要な語句の意味を調べている。 (ノート)
	5	○意見文の構成を考えることができる。 ・取材した資料から必要なものを選び、意見文の構成を考える。	・自分の考えの根拠となる資料を選択し、説得力のある構成を考えようとしている。 (態度・自己評価)	〈書く〉 ・自分の考えの根拠となる資料を選択し、説得力のある構成を工夫している。 (構成表)	・伝えたいことを明確に表現するための段落構成の工夫について理解している。 (構成表)
	6	○意見文を書くことができる。 ・構成表をもとにしながら、意見文を書く。	・構成表をもとにして、自分の考えがはっきりした文章を書こうとしている。 (態度・自己評価)	〈書く〉 ・事実と意見、考えなどを区別して、自分の考えがはっきりした文章を書いている。 (意見文)	・書き手の意図がはっきり分かるような文末表現について理解している。 (意見文)

7	○ 意見文を推敲することができる。 ・ 意見文を推敲し、清書する。	・ 意見文の推敲を進んでしようとしている。 (態度・自己評価)	〈書く〉 ・ 自分の考えが効果的に伝わるような表現になっているかを見直している。 (意見文)	・ 書き手の意図がはっきり分かるような文末表現について理解している。 (意見文)
8	○ 意見交流会を行うことができる。 ・ 意見交流会を行い、感想を交流して自分の考えを深める。	・ 自分の考えを述べたり、友達の意見文への感想を発表したりしている。 (態度・自己評価)	〈書く〉 ・ 友達の意見文を聞き、感想やアドバイスなどを述べている。 (発言・自己評価)	・ 文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。 (ノート)

5 本時の学習 (課題追究 2 / 3)

(1) 学習の目標

原爆ドームがなぜ世界遺産に登録されることになったのかを読み取り、それに対する自分の考えをまとめることができる。

(2) 評価規準

【読む能力】

原爆ドームがなぜ世界遺産に登録されることになったのかを読み取り、それに対する自分の考えをまとめている。

(3) 展開

段階	学習活動	教師のはたらきかけと評価
課題把握と見通し5分	1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 原爆ドームが保存されたことに対しての感想を紹介して、永久保存へと動いた人々の思いの強さと広がりを感じさせる。 原爆ドームが世界遺産に指定された理由を考えるためには、世界遺産とはどういう制度なのかをとらえればよいことを確認する。
	2 本時の学習場面と課題をつかむ。 原爆ドームがなぜ世界遺産に指定されたのかを読み取り、自分の考えをまとめよう。	
	3 本時の学習を見通す。	
課題追究25分	4 学習場面(⑨⑩⑪段落)を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> 段落ごとに指名読みをする。
	5 原爆ドームがなぜ世界遺産に指定されることになったのかを読み取る。 (1) 世界遺産とはどんな制度なのかを次時は筆者の主張をとらえ、要約することを確認する。 (2) 世界遺産決定までの人々の動きの広がりをとらえる。 ・ 人々の動きが、広島→全国→世界へ広がっていったことをとらえる。 ・ 筆者の不安の中味をとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産とはどんな制度なのか説明している文を⑩段落から見つけさせ、遺産の種類(文化・自然)、目的、だれが指定していく制度なのかを確認し、写真資料を提示しながら世界遺産に対する理解を深める。【教材文とのかかわり】 人々の動きの広がりを永久保存決定の時と比較させ、今回は更に世界の人々にも平和の願いが広がっていることに気付かせ、筆者の思いが不安から「世界の人々の平和を求める気持ちの強さを改めて感じた」という確信へと変わっていったことをとらえさせる。【教材文とのかかわり】

	<p>(3) 原爆ドームがなぜ世界遺産に指定されたのか、その理由を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原爆ドームの「大きな役割」についてペアで話し合う。 ・自分の考えをノートに書く。 ・世界遺産に指定された理由を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「人間の歴史に大きな役割を果たした文化遺産」という言葉に着目させ、世界の人々が世界遺産として認めるほどの原爆ドームの「大きな役割」という視点で世界遺産に指定された理由について考えさせる。【教材文とのかかわり】 ・隣同士で話し合わせた後、自分の考えをノートにまとめる。【友達とのかかわり】
<p>課題解決 10分</p>	<p>6 原爆ドームが世界遺産に選ばれたことについての自分の考えをまとめる。</p> <p>(1) 原爆ドームがなぜ世界遺産に指定されたのかその理由をまとめ、それに対して自分の感じたことや考えたことをノートに書く。</p> <p>(2) 発表する。</p>	<p>【具体的評価規準（方法）と指導の手立て】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>原爆ドームが世界遺産に指定されたのはなぜか、そこにかがえる世界の人々の思いをまとめ、それに対して自分の感じたこと考えたことをまとめている。(ノート)</p> <p>(例) 世界の人々は、原爆ドームを世界遺産に指定することで原子爆弾の恐ろしさを伝えたかったのだと思います。私は、日本人だけでなく、世界の人たちも戦争は起こしてはならないと思っていることが分かりました。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の不安や、他の世界遺産との違い、歴史的な背景にもふれながら書くと、更によりことを予め示す。 ・なかなか書くことができない子どもには、板書を参考にさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えを聞き、自分の考えに付け加えたり修正したりしてもよいことを指示する。【友達とのかかわり】
<p>まとめ 5分</p>	<p>7 学習の振り返りをする。</p> <p>8 次時の学習の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが更に深まった点や友達の発表から新たに気付いた点、感想等を書かせる。 ・次時は筆者の主張をとらえ、要約することを確認する。

(4) 板書計画

